

国際関係論	・・・P1～
ジェンダー・セクシュアリティ論	・・・P4～
画像医学	・・・P7～
がんリハビリテーション学	・・・P10～
災害リハビリテーション論	・・・P13～
研究方法論	・・・P16～
医療統計学演習	・・・P19～
作業科学と作業療法理論	・・・P21～
国際作業療法論	・・・P25～
作業療法研究法演習	・・・P28～
作業療法管理学	・・・P32～
身体障害作業療法学演習Ⅱ	・・・P36～
精神障害作業療法学演習	・・・P40～
老年期障害作業療法学演習	・・・P43～
発達障害作業療法学演習	・・・P47～
高次脳機能障害作業療法学演習	・・・P51～
臨床技能実習Ⅱ	・・・P55～
認知症・介護予防作業療法論演習	・・・P60～
身体障害作業療法学特論	・・・P64～
生活環境整備学演習	・・・P67～
地域生活・社会参加支援論	・・・P71～
地域作業療法学	・・・P74～
地域作業療法学演習	・・・P77～
臨床実習Ⅳ	・・・P81～

科目名 : 国際関係論  
英語名称 : International Relations  
担当責任者 : 吉高神 明  
開講年次 : 3年 期 1単位 授業形態 : 集中講義  
必修・選択 : 選択

概要 : 本講義の目的は、転換期を迎えている今日の世界と日本を理解するための分析視角と考察枠組みを学ぶことにある。この場合、2011年3月11日の東日本大震災・東京電力福島第一原発事故、及び2020年1月以降の新型コロナウイルス感染拡大の2つの出来事に焦点を当てつつ、授業を行なう。「国際関係論」は理系学生にとっては聞きなれない学問分野であるが、政治、経済、外交、安全保障の問題についての基礎的知識のない学生にも配慮しつつ、授業を展開する予定である。

学習目標 : 授業終了段階での到達目標：  
1. 国際関係論の分析視角と考察枠組みについて、一定の理解を有するようになる。  
2. 転換期世界と日本の現状と課題について、体系的に理解できるようになる。  
3. 現在関心を集めている国際問題について、自分なりの説明と分析を行えるようになる。

テキスト : 本授業では、教科書は指定しない。授業資料は、授業当日までにGoogle Driveの指定の「授業フォルダ」にアップするので、各自ダウンロードすること。

参考書 : 授業の中で指示する。

成績評価方法 : 授業の中で与えられる平常課題 (50点) + 最終レポート (50点)

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月6日	1	駅前	吉高神 明	イントロダクション：グローバル：「転換期世界」と「今ここにいる自分」をつなぐ視点を求めて
2	9月6日	2	駅前	吉高神 明	転換期世界、感染症、健康被害：新型コロナウイルス感染拡大と転換期世界①（感染症の歴史）
3	9月6日	3	駅前	吉高神 明	転換期世界、感染症、健康被害：新型コロナウイルス感染拡大と転換期世界②（世界・日本の動向）
4	9月6日	4	駅前	吉高神 明	転換期世界、放射線被ばく、健康被害：東日本大震災・東京電力福島第一原発事故と転換期世界①
5	9月6日	5	駅前	吉高神 明	転換期世界、放射線被ばく、健康被害：東日本大震災・東京電力福島第一原発事故と転換期世界②
6	9月7日	1	駅前	吉高神 明	転換期世界と「今ここにいる自分」をつなぐ視点①：SDGs
7	9月7日	2	駅前	吉高神 明	転換期世界と「今ここにいる自分」をつなぐ視点②：地方創生
8	9月7日	3	駅前	吉高神 明	転換期世界と「今ここにいる自分」をつなぐ視点③：働き方改革
9	9月7日	4	駅前	吉高神 明	転換期世界と「今ここにいる自分」をつなぐ視点④：男女共生
10	9月7日	5	駅前	吉高神 明	転換期世界と「今ここにいる自分」をつなぐ視点⑤：2030~50年の世界・日本・福島
11	9月8日	1	駅前	吉高神 明	転換期世界と若者①：アジアの中の日本
12	9月8日	2	駅前	吉高神 明	転換期世界と若者②：日本における若者の変遷

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	9月8日	3	駅前	吉高神 明	転換期世界と若者③：世界の若者と日本の若者比較
14	9月8日	4	駅前	吉高神 明	転換期世界と若者④：クール・ジャパン
15	9月8日	5	駅前	吉高神 明	転換期世界と若者⑤：クールジャパンと福島

科目名 : ジェンダー・セクシュアリティ論 【保健3】  
英語名称 :  
担当責任者 : 有吉健太郎  
開講年次 : 3年前期 1単位 授業形態 : 講義  
必修・選択 : 選択

概要 : ジェンダー／セクシュアリティ研究とは、「性」をめぐる様々な事柄（性別、性差、性欲、性行為など）について、自然科学ではなく社会科学の側からアプローチする学問分野である。本講義では、医療に携わる者として習得すべきジェンダー／セクシュアリティ研究の知見について解説する。授業ではイントロダクションでジェンダー／セクシュアリティ研究が扱う領域について学んだ後、「近代家族と女性・男性の就労」「性暴力とセクシュアル・ハラスメント」「日本における性的マイノリティ」の三つの大テーマについて学ぶ。

学習目標 : ①近代家族と女性の就労について基本知識を習得し、性別を問わず誰もが自分らしい人生を送れる社会をつくるために自分たちに何ができるかを考えることができる。  
②ジェンダー非対称構造による女性の性被害の現実について知り、性の自己決定権・性的自由という考え方がなぜ必要不可欠なのかについて説明できるようになる。  
③性自認および性的指向（SOGI）と日本における性的マイノリティをとりまく現状について学び、その知識を専門医療技術者としてまた一人の社会人としての行動に繋げることができる。

テキスト : なし。毎回の授業時にレジユメを配布する。

参考書 : ・男女共同参画統計研究会編『男女共同参画統計データブック2015：日本の女性と男性』（ぎょうせい、2015年）  
・角田由紀子『性と法律——変わったこと、変えたいこと』（岩波新書、2013年）  
・石田仁『はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで』（ナツメ社、2019年）  
・森山至貴『LGBTを読みとく：キア・スタディーズ入門』（ちくま新書、2017年）  
・前川直哉『男の絆：明治の学生からボーイズ・ラブまで』（筑摩書房、2011年）  
・前川直哉『〈男性同性愛者〉の社会史：アイデンティティの受容／クローゼットへの解放』（作品社、2017年）

成績評価方法 : 成績評価は ①出席状況 ②授業への参加状況 ③授業内の小テスト・課題 ④期末試験 に基づき行う。出席状況または授業への参加状況が著しく悪い場合は期末試験の受験を認めない場合がある。

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月11日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	イントロダクション
2	4月18日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	近代家族と性別役割分業観
3	4月25日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	女性の就労とM字カーブ（1）
4	5月2日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	女性の就労とM字カーブ（2）
5	5月9日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	男性ホモソーシャル大国・日本
6	5月16日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	福島県におけるジェンダーの現状と課題
7	5月23日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	医療現場とジェンダー
8	5月30日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	性的自由と性暴力
9	6月6日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	セクシュアル・ハラスメント
10	6月13日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	視線の力学におけるジェンダー非対称
11	6月20日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	性自認と性的指向
12	6月27日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	同性愛と同性婚

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月4日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	トランスジェンダーと性同一性障害
14	7月11日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	医療と性的マイノリティ
15	7月18日	1	駅前	前川直哉（福島大学）	まとめと振り返り

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 画像医学  
英語名称 : Diagnostic Radiology  
担当責任者 : 佐藤 久志  
開講年次 : 3年 前期 1単位 授業形態 : 講義  
必修・選択 : 必修

概要 : 現在の医療において、画像診断はなくてはならないものとなっている。そこで、本科目では特に画像診断学の基礎を学び、診療において活用できる基礎知識を得る。特に、疾患診断に必要な医用画像について、今までに得た解剖学、生理学や病態学の知識に基づき、代表的な疾患の画像所見について学習する。講義では、人体の画像解剖をCTおよびMRIによる画像を用いて理解し、さらに一般的な疾病の臨床画像を示しながら画像診断法を学習し、診断の目的に適した画像の選択とそれらの画像のもつ臨床的意義について学ぶ。

学習目標 : 1. 画像診断に必要な画像解剖を知る。  
2. 画像診断法について知る。  
3. 臓器毎、疾患毎の画像診断学の基礎を学ぶ。

テキスト : なし

参考書 : 画像診断 コンパクトナビ 医学教育出版社 第四版

成績評価方法 : レポート100%

その他 : 病院で実際に画像診断を行っている、経験豊かな放射線科の先生方からの講義になります。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○



授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月11日	2	駅前	佐藤久志（診療放射線科学科）	画像医学総論 画像診断装置 治療と画像医学
2	4月18日	2	駅前	伊藤浩（放射線医学講座）	画像診断の進め方 中枢神経 （MRI, CT）
3	4月25日	2	駅前	伊藤浩（放射線医学講座）	中枢神経 （核医学を中心に）
4	5月2日	2	駅前	森谷浩史（大原総合病院）	胸部（肺） （CTを中心に）
5	5月9日	2	駅前	福島賢慈（放射線医学講座）	胸部（循環器） （MRI, CT, 核医学を中心に）
6	5月16日	2	駅前	山國 遼（放射線医学講座）	腹部（肝・胆・膵） （CT, MRIを中心に）
7	5月23日	2	駅前	箱崎元晴（放射線医学講座）	腹部（肝・胆・膵） （CT, 核医学を中心に）
8	5月30日	2	駅前	歌野健一（会津医療センター）	腹部（消化管） （CTを中心に）
9	6月6日	2	駅前	長谷川靖（放射線医学講座）	腹部（泌尿器） （MRI, CT, 核医学を中心に）
10	6月13日	2	駅前	長谷川靖（放射線医学講座）	腹部（婦人科・乳腺） （MRI, CT, 核医学を中心に）
11	6月20日	2	駅前	末永博紀（放射線医学講座）	筋肉・骨・関節 （MRI, CT, 核医学を中心に）
12	6月27日	2	駅前	石井士朗（放射線医学講座）	腫瘍・骨・炎症・内分泌 （核医学を中心に）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月4日	2	駅前	関野啓史（放射線医学講座）	IVR（血管IVRおよび非血管IVR）
14	7月11日	2	駅前	黒岩大地（放射線医学講座）	救急画像診断
15	7月18日	2	駅前	佐藤久志（診療放射線科学科）	まとめ

科目名 : がんリハビリテーション学  
英語名称 : Cancer Rehabilitation  
担当責任者 : 五百川和明  
開講年次 : 3年 前期 1単位 授業形態 : 講義  
必修・選択 : 必修（作業療法学科）、選択（理学療法学科）

概要 : 本科目は、がんの病態と医学的治療、がんリハビリテーション及びチーム医療の実践に関する基礎知識の習得を目指す。

内容としては、がんリハビリテーションの概要、乳がんや脳腫瘍、頭頸部がん、骨・軟部腫瘍等の周術期のリハビリテーション、化学療法や放射線医療、造血器腫瘍とリハビリテーション、がんによる各種障害、緩和ケア、がん患者の心のケア等について学び、がんの各疾患や病期、特性等を踏まえたリハビリテーションについて理解を深める。

学習目標 : 1. がんの病態と治療について説明できる。  
2. がんリハビリテーションの目的とチーム医療の役割について説明できる。  
3. がんの各疾患別のリハビリテーションについて、治療法や病期に応じたリハビリテーションの目的と基本的な介入方法について説明できる。

テキスト : ・辻哲也，編：標準理学療法学・作業療法学・言語聴覚障害学別巻，がんのリハビリテーション，医学書院

参考書 : ・辻哲也編：がんリハビリテーションマニュアル，医学書院

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月13日	3	福島駅前キャンパス	矢吹 省司 (理学療法学科)	がんリハビリテーションの概要, チーム医療の役割
2	4月20日	1	福島駅前キャンパス	河野 浩二 (医学部消化管外科学講座)	周術期リハビリテーション (開胸・開腹術)
3	5月10日	7	福島駅前キャンパス	大竹 徹 (医学部乳腺外科学講座)	周術期リハビリテーション (乳がん)
4	5月11日	1	福島駅前キャンパス	藤井 正純 (医学部脳神経外科学講座)	周術期リハビリテーション (脳腫瘍)
5	5月18日	1	福島駅前キャンパス	川瀬 友貴 (医学部耳鼻咽喉科学講座)	周術期リハビリテーション (頭頸部がん)
6	5月25日	1	福島駅前キャンパス	矢吹 省司 (理学療法学科)	周術期リハビリテーション (骨・軟部腫瘍、脊髄腫瘍)
7	6月1日	1	福島駅前キャンパス	矢吹 省司 (理学療法学科)	骨転移とリハビリテーション
8	6月8日	1	福島駅前キャンパス	森下 慎一郎 (理学療法学科)	造血器腫瘍、造血幹細胞移植とリハビリテーション
9	6月15日	1	福島駅前キャンパス	佐治 重衡 (医学部腫瘍内科学講座)	化学療法とリハビリテーション
10	6月22日	1	福島駅前キャンパス	高橋 勝 (附属リハビリテーションセンター)	がんによるADL・IADL障害とリハビリテーション
11	6月29日	1	福島駅前キャンパス	菅野 和広 (附属リハビリテーションセンター)	がんによる摂食・嚥下障害, コミュニケーション障害とリハビリテーション
12	7月6日	1	福島駅前キャンパス	二村 美也子 (附属リハビリテーションセンター)	がんによる高次脳機能障害とリハビリテーション

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月13日	1	福島駅前キャンパス	山本 優一 (北福島医療センター)	リンパ浮腫とリハビリテーション
14	7月20日	1	福島駅前キャンパス	佐藤 薫 (医学部麻酔科学講座)	緩和ケアとリハビリテーション
15	7月27日	1	福島駅前キャンパス	三浦 至 (医学部神経精神医学講座)	がん患者の心のケアとリハビリテーション

科目名 : 災害リハビリテーション論 【保健3】  
英語名称 : Disaster Rehabilitation  
担当責任者 : 矢吹省司  
開講年次 : 3年 前期 1単位 授業形態 : 講義  
必修・選択 : 必修

概要 : 本科目は、災害時の医療とリハビリテーション専門職に求められる活動に関する基礎知識の習得を目指す。内容としては、災害時の各フェーズ（被災混乱期・応急修復期・復旧期・復興期）とリハビリテーションアプローチ、災害支援チームの在り方、支援活動と倫理、被災者の心の支援、平時の体制と準備、災害ボランティアの役割と活動、及び国際協力と災害リハビリテーション等について学び、災害支援の在り方について理解を深める。本科目は、本学部がキーワードとしている「地域医療」及び「危機対応・災害医療」に対応する科目である。

学習目標 : 1) 災害リハビリテーションの役割について説明できる。  
2) 災害フェーズ別のリハビリテーション支援の概要について説明できる。  
3) 災害に備えた平時の体制、準備とボランティア活動の役割を理解し、説明できる。

テキスト : 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会編 災害リハビリテーション標準テキスト 医歯薬出版 2018

参考書 : なし（配布資料）

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月10日	1	駅前	大井直住 (長野保健医療大学)	災害リハビリテーション総論、大規模災害とは
2	4月17日	1	駅前	島田二郎 (ふたば救急総合医療支援センター)	災害フェーズ分類と対応
3	4月24日	1	駅前	島田二郎 (ふたば救急総合医療支援センター)	各フェーズにおける災害医療
4	5月1日	1	駅前	矢吹省司	各フェーズにおける災害リハビリテーション
5	5月8日	1	駅前	島野光正 (郡山女子大学)	災害支援チームの在り方
6	5月15日	1	駅前	島野光正 (郡山女子大学)	災害リハビリテーション活動における倫理、留意点
7	5月22日	1	駅前	島野光正 (郡山女子大学)	被災者の心の支援
8	5月29日	1	駅前	田代雅実 (診療放射線科学科)	災害に対する平時の体制、準備対応
9	6月5日	1	駅前	田代雅実 (診療放射線科学科)	災害ボランティアの役割と活動
10	6月12日	1	駅前	小野田修一 (南相馬市立総合病院)	災害フェーズ別具体的リハビリテーションアプローチ (被災混乱期、応急修復期)
11	6月19日	1	駅前	小野田修一 (南相馬市立総合病院)	災害フェーズ別具体的リハビリテーションアプローチ (復旧期)
12	6月26日	1	駅前	椎野良隆 (竹田総合病院)	椎野良隆 (竹田総合病院)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月3日	1	駅前	椎野良隆 (竹田総合病院)	災害フェーズ別具体的リハビリテーションアプローチ (復興期: 街づくり)
14	7月10日	1	駅前	星真琴 (南相馬市健康福祉部)	行政における災害リハビリテーション
15	7月24日	1	駅前	星真琴 (南相馬市健康福祉部)	国際協力と災害リハビリテーション



科目名 : 研究方法論  
英語名称 : Research Strategy  
担当責任者 :  
開講年次 : 3年 前期 1単位 授業形態 : 講義  
必修・選択 : 必修

概要 : 研究とは未知の現象を明らかにし、論文として報告するものである。そのために、まず論文の基本的な構成について学び、既知の研究内容を把握するためにも、文献検索方法を習得する。研究の倫理的な問題について理解する。研究目的からの研究立案について、身近な例をあげながら、学生に考え、議論してもらう。実際の研究例を見ながら具体的な研究の進め方について、また研究内容にプレゼンテーション方法について学ぶことで、卒業研究に向けた準備とする。

学習目標 : (1)論文の基本構成について理解する。  
(2)基礎的な文献検索が出来る。  
(3)研究倫理について理解する。  
(4)研究目的から研究立案まで、研究のステップを理解する。  
(5)具体的な研究例を通して研究デザインを理解する。  
(6)研究のプレゼンテーション・スキルを理解する。

テキスト :

参考書 :

成績評価方法 : レポート70%、小テスト30%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月10日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	川又寛徳(作業療法学科)	オリエンテーション、研究事始め (リサーチマインドをもった臨床家になるために)
2	4月17日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床検査学科)	論文の基本構成と検索の仕方,
3	4月24日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	川又寛徳(作業療法学科)	疑問の構造化
4	5月1日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	川又寛徳(作業療法学科)	疑問のモデル化、測定デザイン (変数、アウトカム指標)
5	5月8日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床検査学科)	研究デザインの型1:基礎研究
6	5月15日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	福田篤志 (診療放射線科学科)	測定機器(適応と限界)
7	5月22日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	川又寛徳(作業療法学科)	研究デザインの型1:症例・事例研究
8	5月29日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	高橋仁美(理学療法学科)	研究デザインの型2:観察研究 (縦断研究、横断研究)
9	6月5日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	義久精臣 (臨床検査学科)	研究デザインの型3:介入研究 (バイアス、交絡、治験、RCT)
10	6月12日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	片桐和子(看護学部)	片桐和子(看護学部)
11	6月19日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	家村俊一郎(医療-産業TRセンター)	産学連携研究
12	6月26日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床検査学科)	研究倫理

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月3日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	効果的な研究発表とは1
14	7月10日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	効果的な研究発表とは2
15	7月24日	3	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	効果的な研究発表とは3

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

**科目名** : 医療統計学  
**英語名称** : Medical statistics exercise  
**担当責任者** : 柴田 恭子  
**開講年次** : 3年 後期 2単位 **授業形態** : 演習  
**必修・選択** : 必修 (理学・作業・放射・臨床検査)

**概要** : 前半では、多変量回帰モデル解析とロジスティック回帰の基本を学びます。多変量回帰モデルで扱う説明変数の使い方、交絡調整について学びます。後半では、講義「統計学」「医療統計学」で学んだ内容を踏まえ、医療系論文を題材に統計学的な諸問題について考察を行い、統計学的な理解や解釈ができる能力を身につけます。

**学習目標** : (1) 多変量回帰モデルで扱う説明変数の使い方、交絡調整について説明ができる。  
(2) ロジスティック回帰モデルでリスクを計算することができる。  
(3) 統計学的な諸問題 (試験のデザイン、データの表示、解析方法、結果の解釈など) を考察することができる。

**テキスト** : 資料を配布する。

**参考書** :

**成績評価方法** : 平常点 50%、レポート 50%

**その他** : 授業の教室は決まり次第、お知らせします。  
**メッセージ等**

**実務経験のある教員が行う授業科目** : —

授業スケジュール／担当教員等：

回	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月1日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	多変量回帰モデル解析
2	4月17日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ロジスティックス回帰
3	4月24日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ
4	5月1日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ
5	5月8日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ
6	5月15日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ
7	5月22日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ
8	5月29日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ
9	6月5日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ
10	6月12日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ
11	6月19日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ
12	6月26日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ
13	7月3日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ
14	7月10日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ
15	7月24日 (月)	2	／ 駅前キャンパス	柴田恭子	ディスカッションテーマ

科目名 : 作業科学と作業療法理論  
英語名称 : Occupational Science and Occupational Therapy Theory  
担当責任者 : 川又寛徳  
開講年次 : 3年 前期 2単位 授業形態 : 講義  
必修・選択 :

概要 : 人と作業、環境との相互関連性を学び、人の健康や生活・人生において、作業がどのような意味・意義を持つのかを理解することを目指す。作業の定義や種類、作業の意味、人-作業-環境との関連、活動と参加における作業、作業科学の概要と実践、及び作業療法の理論やモデル、その応用について学び、人々が様々な作業を通して社会に参加し他者と交流すること、日々の生活における作業が心身の機能や健康維持に関係していることを理解する。

学習目標 : 1) 人と作業、環境との相互関連性を理解する。  
2) 人の健康や生活・人生において、作業がどのような意味・意義を持つのか理解する。  
3) 作業科学の概要と実践への適応について理解する。  
4) 作業療法の理論やモデルについて理解する。

テキスト : ○「作業」って何だろう第2版 作業科学入門 吉川ひろみ 医歯薬出版  
○作業療法実践の理論 原書第4版 Kielhofner.G(山田孝・監訳)、医学書院

参考書 : ●キールホフナーの人間作業モデル 第5版、協同医書出版  
●作業科学 作業的存在としての人間の研究 Zemke.R、Clark.F (佐藤剛・監訳)、三輪書店  
●続・作業療法の視点 作業を通しての健康と公正 Townsend.E、Polatajko.HJ(吉川ひろみ・監訳)、大学教育出版  
●作業療法がわかるCOPM・AMPSスターティングガイド 吉川ひろみ、医

成績評価方法 : 定期試験50%、レポート50%

その他 : 作業と健康、作業療法の理論と実践の結びつきについて理解を深めてください。  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月10日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	オリエンテーション、理論と実践
2	4月10日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	理論の意義とレベル
3	4月17日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	作業療法パラダイムの変遷 前パラダイム期ー作業パラダイム期
4	4月17日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	作業療法パラダイムの変遷 機械論ー現代
5	4月24日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	作業科学 作業の視点、意味、形態、機能
6	4月24日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	作業科学 作業的存在
7	5月1日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	作業科学 作業的公正
8	5月1日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	作業科学 作業的不公正
9	5月8日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	作業科学 実践への適応：Well Elderly Study
10	5月8日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	作業科学の実践への適応 実践への適応：Lifestyle Redesign, PUPS
11	5月15日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	人間作業モデル 概要、意志
12	5月15日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	人間作業モデル 習慣化

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	5月22日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	人間作業モデル 遂行能力、環境の相互作用
14	5月22日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	人間作業モデル 作業適応、作業同一性・有能性
15	5月29日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	人間作業モデル 評価：MOHOST、OSA
16	5月29日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	人間作業モデル 評価：OQ、興味チェックリスト、 役割チェックリスト
17	6月5日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	作業遂行と結びつきのカナダモデル 概要、クライアント中心
18	6月5日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	作業遂行と結びつきのカナダモデル 作業可能化
19	6月12日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	カナダ作業遂行測定(COPM)
20	6月12日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	カナダ作業遂行測定(COPM)の演習
21	6月19日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	プロセスモデル MTDLPの概要
22	6月19日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	プロセスモデル MTDLPの演習
23	6月26日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	プロセスモデル OPTIM、OPPM、OTPF
24	6月26日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	作業療法リーズニング 科学的、相互交流的、状況的



	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	7月3日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	作業療法リーズニング 実際的、叙事的、倫理的
26	7月3日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	理論と実践 理論やモデルによるクライアントの説明
27	7月10日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	理論と実践 理論やモデルによる実践の説明
28	7月10日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	理論を用いた作業分析 各種理論の観点から作業を分析する（演習）
29	7月24日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	理論を用いた作業分析 各種理論の観点から作業を分析する（発表）
30	7月24日	5	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	総括

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 国際作業療法論  
英語名称 : International Occupational Therapy  
担当責任者 : 五百川和明  
開講年次 : 3年 後期 1単位 授業形態 : 講義  
必修・選択 : 必修

概要 : 100カ国超で提供される作業療法は、医療と生活の懸け橋となる専門領域であり、作業療法士は世界共通の視点を有する一方で、各地域の歴史や文化などに彩られた特性を把握し、その地域に適したサービスを提供している。つまり、作業療法士は地域の医療と生活ならびにその阻害因子に対処する視点を有する。

本講義は作業療法の国際性の視点から「地球規模で考え、足元から行動せよ (Think globally, act locally.)」の考え方と方策を具体例から教授する。内容としては、諸外国の作業療法及び作業療法士の現状、世界作業療法士連盟の活動や青年海外協力隊による作業療法支援などについて学ぶ。

学習目標 : 1. 作業療法の視点から地球規模に拡大して様々な変化を引き起こすグローバルイゼーション (globalization) を理解する。  
2. 作業療法の視点から地域の特色や特性を考慮する「地域限定化 (localization)」を理解する。  
3. 作業療法の視点から「グローカル化 (glocalization)」を理解する。  
4. 作業療法から視点から「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals; SDGs)」を理解する。

テキスト : なし (配布資料)

参考書 : なし

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	11月20日	6	福島駅前キャンパス	五百川 和明 (作業療法学科)	国際作業療法論総論
2	11月20日	7	福島駅前キャンパス	同上	作業療法の成り立ちとその世界共通性
3	11月27日	6	福島駅前キャンパス	同上	世界作業療法士連盟と日本作業療法士協会
4	11月27日	7	福島駅前キャンパス	同上	作業療法教育の世界基準
5	12月4日	6	福島駅前キャンパス	高橋 香代子 (北里大学)	日本と米国の作業療法の類似点と相違点
6	12月4日	7	福島駅前キャンパス	同上	日本と欧州の作業療法の類似点と相違点
7	12月11日	6	福島駅前キャンパス	大槻 美佳 (メディカル・ケア・サービス株式会社)	日本と発展途上国の作業療法の類似点と相違点
8	12月11日	7	福島駅前キャンパス	同上	国際作業療法の実際 (国際ネットワークづくりの立場から)
9	12月18日	6	福島駅前キャンパス	佐藤 善久 (東北福祉大学)	人権、作業剥奪
10	12月18日	7	福島駅前キャンパス	同上	国際作業療法の実際 (海外留学経験の立場から)
11	1月15日	6	福島駅前キャンパス	曾根 稔雅 (作業療法学科)	国際作業療法の実際 (国際学会発表経験の立場から)
12	1月15日	7	福島駅前キャンパス	曾根 稔雅 (作業療法学科)	国際作業療法の実際 (日本作業療法士協会国際部の立場から)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月22日	6	福島駅前キャンパス	星 真琴（南相馬市健康福祉部）	国際作業療法の実際（青年海外協力隊経験の立場から）
14	1月22日	7	福島駅前キャンパス	佐藤 寿晃（山形県立保健医療大学）	CBR (Community-based Rehabilitation)、PHC (Primary Health Care)
15	1月29日	6	福島駅前キャンパス	五百川 和明（作業療法学科）	作業療法の視点からThink globally, act locally.とは何か

科目名 : 作業療法研究法演習  
英語名称 : Exercises in Research Methodology for Occupational Therapy  
担当責任者 : 倉澤茂樹  
開講年次 : 3年 後期 1単位 授業形態 : 演習  
必修・選択 : 必須

概要 : 研究方法論で学んだことに基づき、作業療法の代表的な研究を題材として、作業療法研究の一連の過程を問題解決型学習形式で学習する。また、卒業研究に向けて、学生が研究計画の一部を立案することを目指す。内容としては、作業療法の代表的な研究を題材に、福原の「研究の7つのステップ」に準じて、研究疑問の着想から発表までのプロセスを模擬体験し、著者の考えや研究のプロセスにおいて重要なポイントを学生間で議論し、整理する。検討した内容をわかりやすくまとめて資料を作成し、発表する。さらに、卒業研究に向けて、学生が自身の研究疑問から研究課題を設定し、研究計画の一部を立案することを目指す。

学習目標 :  
1) 作業療法の研究過程を理解できる。  
2) 作業療法の研究論文からPICO (PECO) などの重要なポイントを抽出できる。  
3) 学習成果をわかりやすくまとめ、発表できる。  
4) 研究計画の一部を立案することができる。

テキスト : 福原俊一 臨床研究の道標 第2版 (上下巻) 認定NPO法人 健康医療評価研究機構

参考書 : 友利幸之助、京極真、竹林崇 作業で創るエビデンス 医学書院

成績評価方法 : 成績評価方法：レポート100%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	オリエンテーション、作業療法研究概論：研究のプロセス、着想から公表まで
2			駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	研究の7つのステップ （1）研究疑問の構造化
3			駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	研究の7つのステップ （2）文献レビュー（講義）
4			駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	研究の7つのステップ （2）文献レビュー（演習）
5			駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	研究の7つのステップ （3）疑問のモデル化
6			駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	研究の7つのステップ （4）測定をデザインする
7			駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	研究の7つのステップ （5）研究の型を選ぶ
8			駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	研究の7つのステップ （6）比較の質を高める
9			駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	研究の7つのステップ （7）倫理的配慮
10			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 課題論文の提示（OTの優良研究、もしくは教員自身の研究、各種研究デザインを網羅、）とグループワークの進め方
11			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 課題論文の読み込み、課題論文の研究疑問の抽出
12			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 課題論文の研究疑問の背景の抽出

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 課題論文の研究疑問の背景の整理、検討
14			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 課題論文のPICO、PECO（対象、要因・介入、比較対象、アウトカム）
15			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 課題論文の研究疑問のFIRMNESSチェック（実施可能性、興味深さ、切実さ、独自性、倫理性など）
16			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 課題論文の研究疑問のモデル化の検討
17			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 課題論文の研究疑問のモデル化の整理
18			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 課題論文の交絡とバイアス、その対処
19			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 課題論文のサンプルサイズ設計、解析方法
20			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 グループワークのまとめ
21			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 発表資料の作成
22			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 発表：A、B、Cグループ
23			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 発表：D、E、Fグループ
24			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 発表：G、H、Iグループ

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 発表：Jグループ 全体の総括
26			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 研究計画の立案：研究疑問の列挙
27			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 研究計画の立案：研究疑問の構造化（PICO、PECO）
28			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 研究計画の立案：研究疑問の構造化（FIRMNESSチェック）
29			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 研究計画の立案：文献レビュー
30			駅前	倉澤茂樹・澄川幸志・藤田貴昭・浅尾章彦・石川陽子・田中善信（作業療法学科）	問題解決型学習 研究計画の発表



科目名 : 作業療法管理学  
英語名称 : Occupational Therapy Management  
担当責任者 : 五百川和明  
開講年次 : 3年 前期 2単位 授業形態 : 講義  
必修・選択 : 必修

概要 : 作業療法の実践における管理・運営の基礎知識の習得を目指す。内容としては、我が国の保健・医療・福祉制度や診療報酬、介護報酬、リハビリテーション医療における経済学的視点、作業療法実践における職場管理、組織運営のマネジメントに関する知識を習得する。さらに、人権擁護や社会的公正の視点、安全管理、リスクマネジメント、さらには作業療法士の職業倫理や作業療法士教育に関する学習を通して、職場内に留まらず広く地域社会に貢献する専門職としての基礎知識を身に付ける。

学習目標 :  
1. 医療保険制度、介護保険制度の概要を理解し、作業療法実践に関連する診療報酬、介護報酬について説明できる。  
2. 組織運営のマネジメントの目的と方法を理解し、説明できる。  
3. 人権擁護や社会的公正の視点から対象者の社会参加と作業療法支援について説明できる。  
4. 作業療法士の職業倫理を理解し、作業療法士の専門職としての役割について説明できる。  
5. 作業療法士の教育体系を理解し、質の高い作業療法士を目標とした教育に関して議論できる。

テキスト : ・大庭潤平，編著：作業療法管理学入門，医歯薬出版社

参考書 : ・杉原素子、古川宏、編集主幹：作業療法士プロフェッショナルガイド，作業療法士とは何か，文光堂

成績評価方法 : 定期試験80%、レポート20%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月7日	5	福島駅前キャンパス	五百川 和明 (作業療法学科)	作業療法に関連する社会保障制度
2	4月7日	6	福島駅前キャンパス	同上	社会保険制度
3	4月14日	5	福島駅前キャンパス	同上	医療保険制度
4	4月14日	6	福島駅前キャンパス	同上	介護保険制度
5	4月21日	5	福島駅前キャンパス	同上	障害者保健福祉施策
6	4月21日	6	福島駅前キャンパス	同上	障害者総合支援法
7	4月28日	5	福島駅前キャンパス	同上	作業療法の診療報酬
8	4月28日	6	福島駅前キャンパス	同上	作業療法の介護報酬
9	5月12日	5	福島駅前キャンパス	同上	作業療法部門の管理 開設、施設基準
10	5月12日	6	福島駅前キャンパス	同上	作業療法部門の管理・運営1 組織、マネジメント
11	5月19日	5	福島駅前キャンパス	同上	作業療法部門の管理・運営2 管理者とリーダーシップ
12	5月19日	6	福島駅前キャンパス	同上	作業療法部門の管理・運営3 日常業務、管理運営

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	5月26日	5	福島駅前キャンパス	五百川 和明 (作業療法学科)	作業療法部門の管理・運営4 職場教育、人材育成
14	5月26日	6	福島駅前キャンパス	同上	作業療法部門の管理・運営5 安全管理、リスクマネジメント
15	6月2日	5	福島駅前キャンパス	同上	作業療法実践の記録1 記録の目的と種類
16	6月2日	6	福島駅前キャンパス	同上	作業療法実践の記録2 作業療法実践の記録 PDCAサイクル
17	6月9日	5	福島駅前キャンパス	同上	作業療法実践の記録3 作業療法実践の記録 SOAP
18	6月9日	6	福島駅前キャンパス	同上	作業療法実践の記録4 作業療法部門運営の記録
19	6月16日	5	福島駅前キャンパス	同上	作業療法実践で求められる報告・連絡・相談
20	6月16日	6	福島駅前キャンパス	同上	作業療法実践で求められる報告・連絡・相談（事例演習）
21	6月23日	5	福島駅前キャンパス	同上	作業療法実践で求められる物の管理 5 S
22	6月23日	6	福島駅前キャンパス	同上	作業療法実践で求められる物の管理 5 S（事例演習）
23	6月30日	5	福島駅前キャンパス	同上	対象者の人権擁護、社会的公正
24	6月30日	6	福島駅前キャンパス	同上	作業療法士の職業倫理1 (講義)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	7月7日	5	福島駅前キャンパス	五百川 和明 (作業療法学科)	作業療法士の職業倫理2 (演習)
26	7月7日	6	福島駅前キャンパス	同上	作業療法士の職業倫理3 (演習発表)
27	7月14日	5	福島駅前キャンパス	同上	作業療法士教育1 教育体系、養成教育・カリキュラム
28	7月14日	6	福島駅前キャンパス	同上	作業療法士教育2 卒後、生涯教育
29	7月21日	5	福島駅前キャンパス	同上	作業療法士教育3 実践教育
30	7月21日	6	福島駅前キャンパス	同上	作業療法士教育4 臨床実習指導

科目名 : 身体障害作業療法学演習Ⅱ  
英語名称 : Exercises in Occupational Therapy for Physical Disabilities Ⅱ  
担当責任者 : 藤田貴昭  
開講年次 : 3年 前期 1単位 授業形態 : 演習  
必修・選択 : 必修

概要 : 身体障害作業療法学で学んだ知識をもとに、作業療法介入および援助法の基本的技術の習得を目指す。内容としては、身体障害作業療法に関する基本的な介入・援助方法について、リスク管理法、関節可動域訓練、筋力増強訓練、協調性訓練、知覚再教育、上肢機能訓練、姿勢保持訓練、作業を活用した治療、自助具の利用、環境整備、及び喀痰吸引等のリスク管理技術を演習や実習を通して学ぶ。さらに、脳血管障害や脊髄損傷の事例をもとに、基本動作訓練や上肢機能訓練、自助具活用等の環境整備の基本的技術についても学ぶ。

学習目標 : 1) 身体障害作業療法におけるリスク管理に必要な技術を理解するとともに、バイタルサインの測定が行える。  
2) 身体障害作業療法の基本的な技術である関節可動域訓練や筋力増強訓練、知覚訓練等を実施できる。  
3) 各身体機能障害に対する作業療法の基本的な介入法を実施できる。

テキスト : 山口昇、玉垣努 編 身体機能作業療法学第4版 標準作業療法学 医学書院  
福屋幸子、山岡麗、千崎陽子 吸引・排痰ができる 医学書院

参考書 : なし（配布資料）

成績評価方法 : 定期試験70%、レポート30%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月7日	1	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	身体障害に対する作業療法介入の 基礎
2	4月7日	2	駅前	同上	リスク管理法 バイタルサイン測定
3	4月14日	1	駅前	藤田貴昭、川崎伊 織、松本大典 (作業療法学科)	関節可動域訓練 骨関節系疾患
4	4月14日	2	駅前	同上	関節可動域訓練 神経系疾患
5	4月21日	1	駅前	同上	筋力増強訓練 骨関節系疾患
6	4月21日	2	駅前	同上	筋力増強訓練 神経系疾患
7	4月28日	1	駅前	同上	知覚再教育訓練 末梢神経障害
8	4月28日	2	駅前	同上	知覚再教育訓練 中枢神経障害
9	5月12日	1	駅前	同上	筋緊張異常に対する介入
10	5月12日	2	駅前	同上	協調運動障害に対する介入 視覚、固有感覚の活用
11	5月19日	1	駅前	同上	協調運動障害に対する介入 作業課題、環境整備
12	5月19日	2	駅前	同上	姿勢保持訓練

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	5月26日	1	駅前	同上	脳血管障害 基本動作訓練（寝返り、起き上がり、座位）
14	5月26日	2	駅前	同上	脳血管障害 基本動作訓練（立位、歩行）
15	6月2日	1	駅前	同上	脳血管障害 上肢機能訓練（徒手的治療）
16	6月2日	2	駅前	同上	脳血管障害 上肢機能訓練（目的活動）
17	6月9日	1	駅前	同上	脊髄損傷、頸髄損傷 基本動作訓練
18	6月9日	2	駅前	同上	脊髄損傷、頸髄損傷 移動訓練
19	6月16日	1	駅前	同上	脊髄損傷、頸髄損傷 上肢動作訓練、自助具
20	6月16日	2	駅前	同上	脊髄損傷、頸髄損傷 環境整備
21	6月23日	1	駅前	同上	作業を活用した治療 脳血管障害
22	6月23日	2	駅前	同上	作業を活用した治療 脳血管障害
23	6月30日	1	駅前	同上	作業を活用した治療 脊髄損傷、頸髄損傷
24	6月30日	2	駅前	同上	作業を活用した治療 神経・筋疾患

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	7月7日	1	駅前	同上	喀痰吸引（講義、実習）
26	7月7日	2	駅前	同上	喀痰吸引（実習）
27	7月14日	1	駅前	同上	物理療法 温熱療法、寒冷療法
28	7月14日	2	駅前	同上	物理療法 電気療法
29	7月21日	1	駅前	同上	事例検討（演習）
30	7月21日	2	駅前	同上	事例検討（発表、まとめ）



科目名 : 精神障害作業療法学演習  
英語名称 : Exercises in Occupational Therapy for Mental Disabilities  
担当責任者 : 石川 陽子  
開講年次 : 3年 前期 1単位 授業形態 : 演習  
必修・選択 : 必修

概要 : 精神科作業療法学で学んだ作業療法介入方法や理論の知識をもとに、具体的事例に対する作業療法介入の立案と介入の基本的技術の習得を目指す。内容としては、各疾患・障害（東郷市っっ嘲笑，気分障害，神経症，摂食障害，パーソナリティ障害，思春期障害，てんかん，物質依存）の特性を考慮した作業療法介入方法の選択やプログラムの立案と実施方法について，事例を活用した問題解決型学習を通して学ぶ。さらに，作業療法を行う上での自己の治療的応用についても学ぶ。

学習目標 : 1) 模擬対象者の情報を解釈し，目標設定に合わせた治療・援助方法を選択することができる。  
2) 治療・援助方法の具体的な動きをイメージして遂行することができる。  
3) 自分が対象者に与える影響を理解することができる。  
4) 他者と意見を交換しながら，視点や知識を増やすことができる。

テキスト : 作業療法全書 作業治療学2「精神障害」 協同医書出版

参考書 : 精神機能作業療法学 医学書院  
精神科作業療法の理論と技術 メジカルビュー社  
精神障害と作業療法（新版） 三輪書店  
ひとと作業・作業活動（新版） 三輪書店

成績評価方法 : 定期試験40% レポート60%

その他 : グループワークを中心とします。分担作業に留まらず，自分の考えを根拠だてて言語化することを学び，他者の視点から多様な考え方を身につけてください。また，自分自身についても考察を深め，自己の関与を踏まえた介入計画を立案することを期待します。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1~ 2	4月12日	1・2	駅前	石川 陽子（作業療法学科）	作業療法実践のプロセス1・2（観察，面接，評価，介入，指導）
3~ 4	4月19日	1・2	駅前	石川 陽子（作業療法学科）	自己の治療的応用，自己分析
5~ 6	4月26日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠原牧（作業療法学科）	PBLオリエンテーション（PBLの理解，シナリオ紹介） PBLグループワーク（学習課題のリストアップ）
7~ 8	5月10日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠原牧（作業療法学科）	PBLグループワーク（仕様理論選択，評価計画立案，評価結果の解釈と統合）
9~ 10	5月17日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠原牧（作業療法学科）	PBLグループワーク（プログラム立案，情報交換，ディスカッション，まとめ，発表準備・練習）
11 ~ 12	5月24日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠原牧（作業療法学科）	プレゼンテーション（統合失調症・急性期） フィードバック
13 ~ 14	5月31日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠原牧（作業療法学科）	プレゼンテーション（統合失調症・回復期） フィードバック
15 ~ 16	6月7日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠原牧（作業療法学科）	プレゼンテーション（統合失調症・維持期） フィードバック
17 ~ 18	6月14日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠原牧（作業療法学科）	プレゼンテーション（気分・感情障害） フィードバック
19 ~ 20	6月21日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠原牧（作業療法学科）	プレゼンテーション（神経症性障害） フィードバック
21 ~ 22	6月28日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠原牧（作業療法学科）	プレゼンテーション（摂食障害） フィードバック
23 ~ 24	7月5日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠原牧（作業療法学科）	プレゼンテーション（パーソナリティ障害） フィードバック

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25 ~ 26	7月12日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠 原牧（作業療法学 科）	プレゼンテーション（思春期障 害） フィードバック
27 ~ 28	7月19日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠 原牧（作業療法学 科）	プレゼンテーション（てんかん） フィードバック
29 ~ 30	7月26日	1・2	駅前	石川 陽子・小笠 原牧（作業療法学 科）	プレゼンテーション（物質依存） フィードバック

科目名 : 老年期障害作業療法学演習  
英語名称 : Exercises in Occupational Therapy for Geriatrics  
担当責任者 : 曾根稔雅  
開講年次 : 3年 前期 1単位 授業形態 : 演習  
必修・選択 : 必修

概要 : 老年期障害作業療法学で学んだ知識をもとに、老年期障害及び認知症の作業療法介入及び援助法の基本的技術の習得を目指す。内容としては、老年期障害作業療法の戦略を学び、老年期で生じやすい寝たきりや閉じこもり、整形疾患、認知症、終末期医療など、老年期の特性を考慮した作業療法介入法の選択や作業療法プログラムの立案と実施方法について、事例を活用した問題解決型学習を通して学ぶ。さらに、介護保険制度における効果的なケアプラン、生活行為向上マネジメントについても理解を深める。

学習目標 : 1)  老年期障害作業療法の戦略を理解する。  
2)  老年期の各疾患・障害の特性を考慮した作業療法プログラムの立案と実施方法を理解する。  
3)  介護保険制度における効果的なケアプランとサービス利用について理解する。

テキスト : 作業治療学4 老年期 (作業療法学全書) 改訂第3版 村田和香 (編) 協同医学出版

参考書 : 高齢期作業療法10の戦略 村田和香 医学書院  
高齢期領域の作業療法 第2版 山田孝 (監修) 中央法規  
作業療法マニュアル 生活行為向上マネジメント 改訂第3版 日本作業療法士協会

成績評価方法 : 定期試験50%、レポート50%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月11日	4	駅前	曾根稔雅、（作業療法学科）	オリエンテーション、老年期作業療法の実践プロセス
2	4月11日	5	駅前	同上	介護保険制度におけるケアプランと生活行為向上マネジメント ①概要と考え方
3	4月18日	4	駅前	同上	介護保険制度におけるケアプランと生活行為向上マネジメント ②プロセス
4	4月18日	5	駅前	同上	介護保険制度におけるケアプランと生活行為向上マネジメント ③事例
5	4月25日	4	駅前	同上	老年期障害作業療法の戦略 クライアントの文脈の理解と尊重
6	4月25日	5	駅前	同上	老年期障害作業療法の戦略 作業の周到的な準備
7	5月2日	4	駅前	同上	老年期障害作業療法の戦略 作業の習慣化、生活リズムの構築
8	5月2日	5	駅前	同上	老年期障害作業療法の戦略 環境の調整
9	5月9日	4	駅前	同上	老年期障害作業療法の実際 寝たきり高齢者の評価
10	5月9日	5	駅前	同上	老年期障害作業療法の実際 寝たきり高齢者に対するプログラム
11	5月16日	4	駅前	同上	老年期障害作業療法の実際 閉じこもり高齢者（虚弱）の評価
12	5月16日	5	駅前	同上	老年期障害作業療法の実際 閉じこもり高齢者（虚弱）に対するプログラム

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	5月23日	4	駅前	同上	老年期障害作業療法の実際 整形疾患の評価
14	5月23日	5	駅前	同上	老年期障害作業療法の実際 整形疾患に対するプログラム
15	5月30日	4	駅前	同上	老年期障害作業療法の実際 認知症高齢者の評価
16	5月30日	5	駅前	同上	老年期障害作業療法の実際 認知症高齢者に対するプログラム
17	6月6日	4	駅前	同上	老年期障害作業療法の実際 終末期の高齢者の評価
18	6月6日	5	駅前	同上	老年期障害作業療法の実際 終末期の高齢者に対するプログラム
19	6月13日	4	駅前	曾根稔雅、川又寛 徳（作業療法学 科）	事例検討（PBL） 事例検討の進め方、事例（寝たきり、閉じこもり、整形疾患、認知症、終末期）の提示
20	6月13日	5	駅前	同上	事例検討（PBL） グループワーク：事例の読み込み
21	6月20日	4	駅前	同上	事例検討（PBL） グループワーク：課題の抽出と整理
22	6月20日	5	駅前	同上	事例検討（PBL） グループワーク：資料収集
23	6月27日	4	駅前	同上	事例検討（PBL） グループワーク：作業療法プログラムの立案
24	6月27日	5	駅前	同上	事例検討（PBL） グループワーク：資料作成

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	7月4日	4	駅前	同上	発表・討議 A、Bグループ
26	7月4日	5	駅前	同上	発表・討議 C、Dグループ
27	7月11日	4	駅前	同上	発表・討議 E、Fグループ
28	7月11日	5	駅前	同上	発表・討議 G、Hグループ
29	7月18日	4	駅前	同上	発表・討議 I、Jグループ
30	7月18日	5	駅前	同上	総括

科目名 : 発達障害作業療法学演習  
英語名称 : Exercises in Occupational Therapy for Pediatrics  
担当責任者 : 倉澤茂樹  
開講年次 : 3年 前期 1単位 授業形態 : 演習  
必修・選択 : 必須

概要 : 発達障害作業療法学で学んだ知識をもとに、発達障害の作業療法介入および援助法の基本的技術の習得を目指す。内容としては、神経発達学的治療法、装具療法・座位保持装置、感覚統合療法、応用行動分析、TEACCHプログラム、CO-OP approachについて、理論やエビデンスを学ぶとともに、事例を活用した演習や実習を通して理解を深める。さらに、発達障害の特性やライフステージを考慮した学校コンサルテーションや地域療育への関わりについても学習する。

学習目標 : 1) 対象児（者）のライフステージに応じた作業療法ニーズがわかる。  
2) 代表的な作業療法アプローチについて概要が説明できる。  
3) 作業療法アプローチの基本的な考え方に沿って評価および治療計画が立案できる。

テキスト : イラストでわかる発達障害の作業療法 医歯薬出版株式会社 辛島千恵子  
編集

参考書 : 標準作業療法学 専門分野 発達過程作業療法学 第3版 医学書院加藤寿宏  
編集  
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 小児科学 第6版 医学書院  
前垣義弘 編集

成績評価方法 : 成績評価方法：定期試験70%、小テスト30%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○



授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月7日	3	駅前	田中善信（作業療法学科）	神経発達学的治療法① 理論的基盤・エビデンスなど
2	4月7日	4	駅前	田中善信（作業療法学科）	神経発達学的治療法② 評価・介入など
3	4月14日	3	駅前	田中善信（作業療法学科）	神経発達学的治療法③ 事例演習（課題点の整理）
4	4月14日	4	駅前	田中善信（作業療法学科）	神経発達学的治療法④ 事例演習（介入方法の検討）
5	4月21日	3	駅前	田中善信（作業療法学科）	装具療法・座位保持装置① 理論的基盤・エビデンスなど
6	4月21日	4	駅前	田中善信（作業療法学科）	装具療法・座位保持装置② 評価・介入など
7	4月28日	3	駅前	田中善信（作業療法学科）	装具療法・座位保持装置③ 事例演習（課題点の整理）
8	4月28日	4	駅前	田中善信（作業療法学科）	装具療法・座位保持装置④ 事例演習（介入方法の検討）
9	5月12日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	感覚統合療法① 理論的基盤・エビデンスなど
10	5月12日	4	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	感覚統合療法② 評価・介入など
11	5月19日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	感覚統合療法③ 事例演習（課題点の整理）
12	5月19日	4	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	感覚統合療法④ 事例演習（介入方法の検討）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	5月26日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	応用行動分析① 理論的基盤・エビデンスなど
14	5月26日	4	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	応用行動分析② 評価・介入など
15	6月2日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	応用行動分析③ 事例演習（課題点の整理）
16	6月2日	4	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	応用行動分析④ 事例演習（介入方法の検討）
17	6月9日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	TEACCHプログラム① 理論的基盤・エビデンスなど
18	6月9日	4	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	TEACCHプログラム② 評価・介入など
19	6月16日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	TEACCHプログラム③ 事例演習（課題点の整理）
20	6月16日	4	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	TEACCHプログラム④ 事例演習（介入方法の検討）
21	6月23日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	CO-OP approach ① 理論的基盤・エビデンスなど
22	6月23日	4	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	CO-OP approach ② 評価・介入など
23	6月30日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	CO-OP approach ③ 事例演習（課題点の整理）
24	6月30日	4	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	CO-OP approach ④ 事例演習（介入方法の検討）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	7月7日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	作業療法士による学校コンサルテーション① 就学前
26	7月7日	4	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	作業療法士による学校コンサルテーション② 初等教育
27	7月14日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	作業療法士による学校コンサルテーション③ 中等教育
28	7月14日	4	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	作業療法士による学校コンサルテーション④ 移行支援・就労支援
29	7月21日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	地域療育における作業療法士の関わり
30	7月21日	4	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	総括

科目名 : 高次脳機能障害作業療法学演習  
英語名称 : Exercises in Occupational Therapy for Higher Brain Dysfunction  
担当責任者 : 川崎伊織  
開講年次 : 3年前期 1単位 授業形態 : 演習  
必修・選択 : 必修

概要 : 高次脳機能障害作業療法学で学んだ知識をもとに、高次脳機能障害の作業療法介入及び指導・援助法の基本的技術の習得を目指す。内容としては、注意障害、記憶障害、失行症、失認症、失語症、遂行機能障害の各障害における作業行動上の課題に対する作業療法の具体的介入法及び指導・援助法、高次脳機能障害者の社会参加や復職、就労に向けた作業療法や環境整備（人的面、物的面、制度面）に関して、事例を活用した演習を通して理解を深める。

学習目標 : 1) 高次脳機能障害に対する作業療法の一連の過程を理解し、説明できる。  
2) 高次脳機能障害と作業行動上の問題に対する作業療法介入について議論し、実践的介入について説明できる。

テキスト : 能登真一編 標準作業療法学「高次脳機能障害作業療法学」 医学書院

参考書 : 前田眞治 標準理学療法学・作業療法学・言語聴覚障害学 「脳画像」 医学書院

成績評価方法 : 定期試験50%、レポート50%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	5月25日	1	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	オリエンテーション 高次脳機能とは
2	5月25日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	高次脳機能障害に対するリハビリテーション概説
3	5月25日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	脳画像所見
4	5月25日	4	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	脳画像と高次脳機能障害（演習）
5	6月1日	1	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	注意障害のリハビリテーション・作業療法
6	6月1日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	注意障害者の社会参加支援
7	6月1日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	注意障害の作業療法（演習）
8	6月1日	4	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	注意障害者の作業療法（発表、まとめ）
9	6月8日	1	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	記憶障害のリハビリテーション・作業療法
10	6月8日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	記憶障害者の社会参加支援
11	6月8日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	記憶障害の作業療法（演習）
12	6月8日	4	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	記憶障害の作業療法（発表、まとめ）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	6月15日	1	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失語症のリハビリテーション・社会参加支援
14	6月15日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失語症の作業療法（演習、発表）
15	6月15日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失行症のリハビリテーション・作業療法
16	6月15日	4	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失行症者の社会参加支援
17	6月22日	1	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失行症の作業療法（演習）
18	6月22日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失行症の作業療法（発表、まとめ）
19	6月22日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失認症のリハビリテーション・作業療法
20	6月22日	4	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失認症者の社会参加支援
21	6月29日	1	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失認症の作業療法（演習）
22	6月29日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失認症の作業療法（発表、まとめ）
23	6月29日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	半側空間無視のリハビリテーション・作業療法
24	6月29日	4	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	半側空間無視者の社会参加支援

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	7月6日	1	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	半側空間無視の作業療法（演習）
26	7月6日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	半側空間無視の作業療法（発表、まとめ）
27	7月6日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	遂行機能障害のリハビリテーション・作業療法
28	7月6日	4	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	遂行機能障害者の社会参加支援
29	7月13日	1	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	遂行機能障害の作業療法（演習）
30	7月13日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	遂行機能障害の作業療法（発表、まとめ）

科目名 : 臨床技能実習Ⅱ  
英語名称 : Practice of Clinical Skills Ⅱ  
担当責任者 : 浅尾章彦  
開講年次 : 3年 前後期 1単位 授業形態 : 実習  
必修・選択 : 必修

概要 : 臨床実習Ⅳで求められる、作業療法評価及び治療介入に関する知識、技術及び態度に関する統合的理解と技術の習得を目指す。内容としては、2年次までに学修してきた知識や技術を再確認・整理しながら、臨床事例を基に作業療法評価及び介入の視点、作業療法評価・介入に必要な技術、態度を学ぶ。さらに、その学習状況の確認として客観的臨床能力試験（OSCE）を行い、臨床実習Ⅳに向けた準備を行う。臨床実習Ⅳの後は実習経験の振り返りを行い、作業療法介入の意義と実践で求められる知識、技術、態度についての理解を深める。授業は演習グループを構成し、作業療法評価及び介入に関する演習および実習を行う。

学習目標 : 1) 作業療法評価及び治療介入の視点について説明できる。  
2) 作業療法評価及び治療介入に必要な知識、技術、態度を身につける。

テキスト : なし

参考書 : なし

成績評価方法 : 客観的臨床能力試験80%、レポート20%

その他 : 1) 客観的臨床能力試験では各項目で60%以上の得点で合格とする。  
メッセージ等 : 2) 客観的臨床能力試験に不合格となった場合、1週間後に再試験を1回に限り実施する。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○



授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月11日	6	駅前	浅尾章彦（作業療法学科）	オリエンテーション 臨床実習Ⅳの学習目標、学生に求められる知識・技術・態度
2	4月11日	7	駅前	浅尾章彦（作業療法学科）	クリニカルクラークシップ、臨床実習で許容される臨床技能水準
3	4月18日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ演習） 疾患と症状の理解
4	4月18日	7	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ演習） 対象者ニーズの把握
5	4月25日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ演習） 作業療法評価項目の抽出
6	4月25日	7	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ演習） 作業療法評価計画
7	5月2日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 ROM検査
8	5月2日	7	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 MMT検査
9	5月9日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 知覚検査
10	5月9日	7	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 上肢機能検査
11	5月16日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 面接法（精神障害事例）
12	5月16日	7	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 作業・行動観察

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	5月23日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 統合失調症の評価
14	5月23日	7	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 気分（感情）障害の評価
15	5月30日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 MMSE、HDS-R
16	5月30日	7	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 興味・関心に関する検査
17	6月6日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ演習） 作業療法評価実施 ADL検査（BI、FIM）
18	6月6日	7	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ演習） 作業療法評価実施 IADL検査
19	6月13日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 動作・作業の模倣
20	6月13日	7	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 動作・作業の観察、記録
21	6月20日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 動作分析
22	6月20	7	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ実習） 作業療法評価実施 作業分析
23	6月27日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ演習） 作業療法評価の解釈、全体像の把握
24	6月27日	7	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	事例演習（グループ演習） 作業療法目標・治療プログラムの立案

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	7月4日	6	駅前	五百川和明・倉澤茂樹・菅根穂 雅・澄川幸志・藤田貴昭・石川陽子・川又寛徳・浅尾章彦・川崎伊織・三橋佑平・田中善信・木村夏実・松本大典・小笠原牧（作業療法学科）	客観的臨床能力試験 基本的臨床技能（面接、作業療法評価・介入、態度）
26	7月4日	7	駅前	五百川和明・倉澤茂樹・菅根穂 雅・澄川幸志・藤田貴昭・石川陽子・川又寛徳・浅尾章彦・川崎伊織・三橋佑平・田中善信・木村夏実・松本大典・小笠原牧（作業療法学科）	客観的臨床能力試験 基本的臨床技能（面接、作業療法評価・介入、態度）
27	7月11日	6	駅前	五百川和明・倉澤茂樹・菅根穂 雅・澄川幸志・藤田貴昭・石川陽子・川又寛徳・浅尾章彦・川崎伊織・三橋佑平・田中善信・木村夏実・松本大典・小笠原牧（作業療法学科）	客観的臨床能力試験 基本的臨床技能（面接、作業療法評価・介入、態度）
28	7月11日	7	駅前	五百川和明・倉澤茂樹・菅根穂 雅・澄川幸志・藤田貴昭・石川陽子・川又寛徳・浅尾章彦・川崎伊織・三橋佑平・田中善信・木村夏実・松本大典・小笠原牧（作業療法学科）	客観的臨床能力試験 基本的臨床技能（面接、作業療法評価・介入、態度）
29	7月23日	6	駅前	五百川和明・倉澤茂樹・菅根穂 雅・澄川幸志・藤田貴昭・石川陽子・川又寛徳・浅尾章彦・川崎伊織・三橋佑平・田中善信・木村夏実・松本大典・小笠原牧（作業療法学科）	客観的臨床能力試験 基本的臨床技能（面接、作業療法評価・介入、態度）
30	7月23日	7	駅前	五百川和明・倉澤茂樹・菅根穂 雅・澄川幸志・藤田貴昭・石川陽子・川又寛徳・浅尾章彦・川崎伊織・三橋佑平・田中善信・木村夏実・松本大典・小笠原牧（作業療法学科）	客観的臨床能力試験 基本的臨床技能（面接、作業療法評価・介入、態度）
31	11月21日	5	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法介入の意義
32	11月21日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 対象者のニーズと作業療法目標
33	11月21日	7	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法評価計画
34	11月28日	5	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 対象者の課題選択、作業療法目標設定の考え方
35	11月28日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法治療プログラム設定の考え方
36	12月5日	5	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法治療計画の考え方

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
37	12月5日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法介入補助におけるポイント（基本的態度）
38	12月12日	5	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法介入補助におけるポイント（基本的技能）
39	12月12日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法介入の実施上のポイント（基本的態度）
40	12月19日	5	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法介入の実施上のポイント（基本的知識）
41	12月19日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法介入の実施上のポイント（基本的技能）
42	1月9日	5	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法介入の実施上のポイント（臨床推論）
43	1月9日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法介入における多職種連携、協業（対象者の理解）
44	1月16日	5	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法介入における多職種連携、協業（リハビリテーション目標の設定）
45	1月16日	6	駅前	浅尾章彦・川崎伊織・石川陽子・川又寛徳・田中善信（作業療法学科）	臨床実習Ⅳの振り返り グループ演習 作業療法介入における多職種連携、協業（作業療法介入）

科目名 : 認知症・介護予防作業療法論演習  
英語名称 : Exercises in Occupational Therapy for Neurocognitive Disabilities and Preventive Care  
担当責任者 : 林 博史  
開講年次 : 3年 後期 1単位 授業形態 : 演習  
必修・選択 : 選択

概要 : 高齢化の進展により社会問題化している認知症対策および介護予防に関して、作業療法の実践と効果を学び、新たな作業療法戦略を検討する力を身につけることを目指す。内容としては、予防・ヘルスプロモーションの概念、国内外の動向、最新の予防作業療法のエビデンスと実践例の紹介、地域包括ケアシステムの概観と作業療法士の役割、福島県での認知症および介護予防事業の現状等を学び、さらにより有効な予防作業療法および戦略について検討する。

学習目標 : 1) 予防・ヘルスプロモーションの概念を理解する。 2) 認知症や介護状態に至る原因や発生機序について理解する。 3) 地域での認知症および介護予防事業の現状について理解する。 4) 作業療法における認知症対策・予防、介護予防の最新の治験を理解する。

テキスト : ・ Evidence Based で考える認知症リハビリテーション 田平隆行/田中寛之 (編) 医学書院 ・ 地域リハビリテーション学 第2版 重森健太/横井賀津志 (編) 羊土社

参考書 : ・ 健康行動理論による研究と実践 一般社団法人日本健康教育学会 (編) 医学書院

成績評価方法 : 定期試験80%、レポート20%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	11月21日(火)	1	駅前	曾根稔雅（作業療法学科）	ガイダンス、根拠に基づく認知症・介護予防作業療法の概要
2	同上	2	駅前	曾根稔雅	予防・ヘルスプロモーションの概念
3	同上	3	駅前	曾根稔雅	予防・ヘルスプロモーションの背景
4	同上	4	駅前	林 博史	認知症の症候と関連因子
5	11月28日(火)	1	駅前	同上	認知症に対する薬物治療
6	同上	2	駅前	同上	認知症に対するリハビリテーション① 認知的介入
7	同上	3	駅前	同上	認知症に対するリハビリテーション② 運動介入
8	同上	4	駅前	同上	認知症に対するリハビリテーション③ 栄養介入
9	12月5日(火)	1	駅前	曾根稔雅	健康行動理論 KAPモデル、健康信念モデル、トランスセオリティカルモデル
10	同上	2	駅前	曾根稔雅	健康行動理論 社会的認知理論、健康生成モデル、SOC
11	同上	3	駅前	曾根稔雅	健康行動理論 プリシード・プロシードモデル、ソーシャルマーケティング、行動経済学
12	同上	4	駅前	曾根稔雅	地域包括ケアシステム 概要

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	12月12日(火)	1	駅前	曾根稔雅	地域包括ケアシステム 背景
14	同上	2	駅前	曾根稔雅	地域包括ケアシステム 作業療法士の役割
15	同上	3	駅前	曾根稔雅	地域包括ケアシステム 作業療法士の取り組み
16	同上	4	駅前	林博史	認知症に対するリハビリテーション④ 音楽療法、アロマセラピー
17	12月19日(火)	1	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	予防作業療法のエビデンス 海外
18	同上	2	駅前	同上	予防作業療法のエビデンス 日本
19	同上	3	駅前	同上	予防作業療法のプログラム開発 計画立案
20	同上	4	駅前	同上	予防作業療法のプログラム開発 実施、評価
21	1月9日(火)	1	駅前	同上	予防作業療法の実践例 ポピュレーション・アプローチの 考え方
22	同上	2	駅前	同上	予防作業療法の実践例 ポピュレーション・アプローチの 事例
23	同上	3	駅前	小林法一（東京都立大学健康福祉学部 作業療法学科）	予防作業療法の実践例 ハイリスク・アプローチの考え方
24	同上	4	駅前	同上	予防作業療法の実践例 ハイリスク・アプローチの事例

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	1月16日(火)	1	駅前	川又寛徳	認知症に対するリハビリテーション⑤ ADL介入
26	同上	2	駅前	同上	認知症に対するリハビリテーション⑥ 生活リズム
27	同上	3	駅前	同上	認知症に対するリハビリテーション⑦ 家族介護支援
28	同上	4	駅前	同上	認知症に対するリハビリテーション⑧ 福祉用具、環境面への介入
29	1月23日(火)	1	駅前	同上	認知症に対する作業療法 軽度認知障害（MCI）と予防、認知症初期集中支援
30	同上	2	駅前	同上	認知症に対する作業療法 福島県作業療法士会の取り組み、総括



科目名 : 身体障害作業療法学特論  
英語名称 : Advanced Occupational Therapy for Physical Disabilities  
担当責任者 : 五百川和明  
開講年次 : 3年 後期 1単位 授業形態 : 講義  
必修・選択 : 選択

概要 : 内部障害とがんの作業療法について、臨床上必要な知識・技術の習得を目指す。内容としては、呼吸器機能障害、循環機能障害、重複障害および廃用症候群に対する作業療法の実践、さらに内部障害者の日常生活活動と余暇に対する作業療法について学ぶ。さらに、がん（乳がん、肺がん、消化器系がん、骨・軟部腫瘍、造血器腫瘍、脳腫瘍、小児がん等）の作業療法実践とリスク管理や福島県作業療法士会が参画しているがんのチャリティー事業を通して、がん患者の社会参加について理解を深める。

学習目標 : 1. 呼吸器障害、循環機能障害、内臓機能障害、およびがん等の障害像を理解し、説明できる。  
2. 内部障害に対する作業療法評価を理解し、各評価項目を列挙し説明できる。  
3. 内部障害に対する作業療法の介入について、基本的な作業療法目標と作業療法プログラムを理解し、説明できる。

テキスト : ・上月正博，編：新編内部障害のリハビリテーション，医歯薬出版  
・辻哲也，編：がんリハビリテーションマニュアル，医学書院

参考書 :

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	11月22日	1	福島駅前キャンパス	五百川 和明 (作業療法学科)	内部障害とは 内部障害の定義と種類
2	11月22日	2	福島駅前キャンパス	三橋 佑平 (作業療法学科)	内部障害者の日常生活面での課題
3	11月22日	3	福島駅前キャンパス	同上	廃用症候群と作業療法士の役割
4	11月29日	1	福島駅前キャンパス	鈴木 真弓 (埼玉医科大学)	内部障害作業療法の実践① 呼吸器機能障害者の作業療法
5	11月29日	2	福島駅前キャンパス	同上	内部障害作業療法の実践② 循環機能障害者の作業療法
6	11月29日	3	福島駅前キャンパス	同上	内部障害作業療法の実践実際③ 重複障害者の作業療法
7	12月6日	2	福島駅前キャンパス	佐藤 瑞枝 (竹田総合病院)	内部障害作業療法の実践④ 廃用症候群の作業療法
8	12月6日	3	福島駅前キャンパス	同上	内部障害作業療法の実践⑤ 日常生活活動と余暇
9	12月6日	4	福島駅前キャンパス	同上	がん作業療法の実践① 作業療法士の役割
10	12月13日	1	福島駅前キャンパス	華井 明子 (理化学研究所)	がん作業療法の実践② 乳がん、婦人科系がん
11	12月13日	2	福島駅前キャンパス	同上	がん作業療法の実践③ 肺がん、消化器系がん
12	12月13日	3	福島駅前キャンパス	同上	がん作業療法の実践④ 造血器腫瘍

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	12月20日	1	福島駅前キャンパス	高橋 勝（附属リハビリテーションセンター）	がん作業療法の実践⑤ 脳腫瘍
14	12月20日	2	福島駅前キャンパス	同上	がん作業療法の実践⑥ 骨・軟部腫瘍
15	12月20日	3	福島駅前キャンパス	五百川 和明 （作業療法学科）	がん患者の社会参加 福島県作業療法士会の活動（リレーフォーライフ）

科目名 : 生活環境整備学演習  
英語名称 : Exercises in Living Environment and Assistive Technology  
担当責任者 : 澄川幸志  
開講年次 : 3年 後期 1単位 授業形態 : 演習  
必修・選択 : 必修

概要 : 福祉機器や住環境整備について、対象者の地域社会への「参加」をテーマに、社会資源や制度、作業療法の具体的な方法について基本的な知識の習得を目指す。内容としては、福祉機器や住環境整備の概念や歴史、社会資源・各種制度、高齢者や各種障害・疾患の特性に応じた福祉機器の導入及び住環境整備の視点・考え方とその具体的方法、更にはユニバーサルデザインによる福祉のまちづくりの視点について学び、グループワークによる事例検討を通して理解を深める。

学習目標 : 1) 福祉機器や住環境整備の概念や歴史、社会資源・各種制度を理解する。  
2) 各種障害・疾患の特性に応じた福祉機器の導入及び住環境整備の視点・考え方とその具体的方法を理解する。  
3) ユニバーサルデザインによる福祉のまちづくりの視点について理解する。

テキスト : 作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備（作業療法学全書）改訂第3版 木之瀬隆（編） 協同医書出版

参考書 : OT・PTのための住環境整備論 野村歡・橋本美芽（編）三輪書店

成績評価方法 : 定期試験50%、レポート50%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	11月30日	4	駅前	澄川幸志（作業療法学科）	オリエンテーション、福祉機器や住環境整備の概念、歴史
2	11月30日	5	駅前	同上	ICFの環境因子と福祉機器、住環境整備
3	11月30日	6	駅前	同上	福祉機器適合と住環境整備の基本姿勢
4	11月30日	7	駅前	同上	福祉機器と住環境整備に関わる職種や制度
5	12月7日	4	駅前	同上	作業活動（木工） 福祉機器適合と住環境整備の流れ
6	12月7日	5	駅前	同上	福祉機器のリスクマネジメント
7	12月7日	6	駅前	澄川幸志・川又寛徳（作業療法学科）	建築の基礎知識、住宅の機能、日本の住宅の特徴
8	12月7日	7	駅前	同上	図面の書き方 講義
9	12月14日	4	駅前	同上	図面の書き方 演習
10	12月14日	5	駅前	澄川幸志（作業療法学科）	福祉機器適合、住環境整備 起居・移乗動作
11	12月14日	6	駅前	同上	福祉機器適合、住環境整備 移動（杖）
12	12月14日	7	駅前	同上	福祉機器適合、住環境整備 姿勢・PSB

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	12月21日	4	駅前	同上	福祉機器適合、住環境整備 移動（車いす）
14	12月21日	5	駅前	同上	福祉機器適合、住環境整備 移動（電動車いす）
15	12月21日	6	駅前	同上	福祉機器適合、住環境整備 食事
16	12月21日	7	駅前	同上	福祉機器適合、住環境整備 更衣・整容
17	1月11日	4	駅前	同上	福祉機器適合、住環境整備 入浴・排せつ
18	1月11日	5	駅前	同上	福祉機器適合、住環境整備 家事、余暇活動
19	1月11日	6	駅前	同上	福祉機器適合、住環境整備 コミュニケーション（スイッチ、 環境制御装置）
20	1月11日	7	駅前	同上	福祉機器適合、住環境整備 介護ロボット
21	1月18日	4	駅前	澄川幸志・ 川又寛徳（作業療 法学科）	疾患別の福祉機器適合、住環境整 備（グループワーク）①グルー プワークの進め方、課題提示
22	1月18日	5	駅前	同上	疾患別の福祉機器適合、住環境整 備（グループワーク）②課題の検 討、資料収集
23	1月18日	6	駅前	同上	疾患別の福祉機器適合、住環境整 備（グループワーク）③介入計画 の立案
24	1月18日	7	駅前	同上	疾患別の福祉機器適合、住環境整 備（グループワーク）④発表資料 の作成

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	1月25日	4	駅前	橋本美芽（東京都立大学）	福祉のまちづくり 概念
26	1月25日	5	駅前	同上	福祉のまちづくり 基本計画と手法
27	1月25日	6	駅前	同上	福祉のまちづくり 事例
28	2月1日	4	駅前	澄川幸志・川又寛 徳（作業療法学 科）	発表 A～Dグループ
29	2月1日	5	駅前	同上	発表 E～Hグループ
30	2月1日	6	駅前	同上	まとめ

科目名 : 地域生活・社会参加支援論  
英語名称 : Support for Community Life and Social Participation  
担当責任者 : 曾根稔雅  
開講年次 : 3年 後期 1単位 授業形態 : 講義  
必修・選択 : 必修

概要 : 仕事や遊び、スポーツ、芸術活動など、対象者の地域生活や社会参加の様々な形態に対する支援や環境調整について、その基本的知識の習得を目指す。内容としては、職業生活、障害者スポーツ、地域包括ケアシステムにおける活動、芸術活動などの社会参加を支援する際に必要な基本知識について学ぶ。さらに、地域で実践している専門職や当事者から支援の実際について学び、対象者のQOLを高めるための社会参加を促進する作業療法について理解を深める。本科目は、本学部がキーワードとしている「地域医療」に関連する科目である。

学習目標 : 1) 仕事や遊び、スポーツ、芸術活動などの地域生活・社会参加を支援する際に必要な基本知識について理解する。  
2) 地域で社会参加支援を実践している作業療法士や他専門職、障害当事者から社会参加とその支援の実際について話を聞き、社会参加を促進する作業療法について理解する。

テキスト : 地域作業療法学 作業療法学全書 第13巻 改訂第3版 協同医書出版

参考書 : 作業療法技術学4 職業関連活動(作業療法学全書) 改訂第3版 平賀 昭信、岩瀬義昭(編) 協同医書出版

成績評価方法 : 定期試験30%、レポート70%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○



授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	11月24日	1	駅前	曾根稔雅（作業療法学科）	オリエンテーション 地域生活・社会参加とは
2	11月24日	2	駅前	同上	職業リハビリテーション 職業生活援助の概説、理論、制度、関連法規
3	11月24日	3	駅前	五百川和明（作業療法学科）	障害と芸術
4	12月8日	1	駅前	曾根稔雅（作業療法学科）	職業生活援助の評価、計画、実施のプロセス
5	12月8日	2	駅前	田中栄一（国立病院機構北海道医療センター）	障害がある方のゲームアクセシビリティ
6	12月8日	3	駅前	同上	障害者とスポーツ：eスポーツ(重度障害者のスポーツへの参加)
7	12月15日	1	駅前	渡邊忠義（あさかホスピタル）	職業生活援助の実際（精神障害者、発達障害者、高齢者） 相談、コンサルテーション
8	12月15日	2	駅前	同上	職業生活援助の実際（精神障害者、発達障害者、高齢者） 就労・生産活動の支援
9	12月15日	3	駅前	同上	職業生活援助の実際（精神障害者、発達障害者、高齢者） 交流・地域生活支援
10	12月22日	1	駅前	五百川和明（作業療法学科）	子どもキャンプについて（重度障害をもつ子供の参加）
11	12月22日	2	駅前	猪狩僚（いわき市地域医療課）	地域包括ケアの実際：いわき市の取り組み（概要、経緯、つどいの場、シルバーリハビリ体操）
12	12月22日	3	駅前	同上	地域包括ケアの実際：いわき市の取り組み（いごくフェス、コミュニティ食堂などの取り組みと専門職、特にOTへの期待）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月19日	1	駅前	曾根稔雅（作業療法学科）	障害者のQOL
14	1月19日	2	駅前	大角浩平（ひだくりニック）	障害者とスポーツ：ソーシャルフットボール（精神障害者のスポーツへの参加）
15	1月19日	3	駅前	曾根稔雅（作業療法学科）	総括

科目名 : 地域作業療法学  
英語名称 : Community-based Occupational Therapy  
担当責任者 : 曾根稔雅  
開講年次 : 3年 前期 1単位 授業形態 : 講義  
必修・選択 : 必修

概要 : 地域リハビリテーションの理念をもとに、地域作業療法の視点、役割、作業療法の実践、在宅生活支援のための制度やシステムに関する知識の習得を目指す。内容としては、地域医療、地域リハビリテーションの理念、地域作業療法の役割、更には地域包括ケアシステムや介護保険制度等の社会制度、地域における社会資源、対象者本人や家族、多職種との協業・連携等について、地域リハビリテーション・作業療法の具体的な取り組みを含め学習する。

学習目標 : 1) 地域、地域リハビリテーション、地域作業療法の概念について理解する。  
2) 地域包括ケアシステムや介護保険制度等の社会制度、社会資源を理解する。  
3) 地域作業療法の役割や対象について理解する。  
4) 地域リハビリテーション・作業療法のプロセスを理解する。  
5) 施場面別の地域作業療法を理解する。

テキスト : 地域作業療法学 作業療法学全書 第13巻 改訂第3版 協同医書出版

参考書 : 地域に根ざした作業療法 理論と実践 ScaffaME (山田孝・監訳) 協同医書出版

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月11日	3	駅前	曾根稔雅(作業療法学科)	地域作業療法の概説 地域とは、地域医療、地域リハビリテーション
2	4月18日	3	駅前	同上	パラダイム転換 医学モデルから社会モデルへ
3	4月25日	3	駅前	同上	地域作業療法の役割と対象
4	5月2日	3	駅前	同上	地域包括ケアシステムと地域リハビリテーション支援体制
5	5月9日	3	駅前	同上	地域作業療法の関連法規、資源、制度（1）：障害者総合支援法
6	5月16日	3	駅前	同上	地域作業療法の関連法規、資源、制度（2）：介護保険法
7	5月23日	3	駅前	同上	ケアマネジメントと生活行為向上マネジメント
8	5月30日	3	駅前	同上	地域作業療法における多職種連携、リスク管理
9	6月6日	3	駅前	同上	地域作業療法に関連する理論
10	6月13日	3	駅前	同上	地域作業療法のプログラム計画、評価
11	6月20日	3	駅前	同上	地域作業療法の実際 通所リハビリテーション
12	6月27日	3	駅前	同上	地域作業療法の実際 訪問リハビリテーション

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月4日	3	駅前	同上	地域作業療法の実際 行政
14	7月11日	3	駅前	同上	地域作業療法の実際 その他
15	7月18日	3	駅前	同上	総括

科目名 : 地域作業療法学演習  
英語名称 : Exercises in Community-based Occupational Therapy  
担当責任者 : 曾根稔雅  
開講年次 : 3年 後期 1単位 授業形態 : 演習  
必修・選択 : 必修

概要 : 地域作業療法学で学んだ知識をもとに、福島県における地域医療および健康面の課題に応じた作業療法を実践するために必要な知識と技術の習得を目指す。内容としては、福島県作業療法士会の歴史や取り組み、福島県で実践されている地域医療、地域作業療法について、様々な実施場面で活躍する作業療法士の講義を通して、当該地域での作業療法士の役割や地域固有の課題等について理解を深める。また、福島県における様々な健康面の課題について問題解決型学習を通して理解を深める。本科目は、本学部がキーワードとしている「地域医療」に関連する科目である。

学習目標 : 1) 福島県で実践されている地域作業療法について、当該地域での作業療法士の役割や地域固有の課題等について理解する。  
2) 地域作業療法学等、これまでに学んだことを活かして、福島県における健康課題に対する地域作業療法計画を立案し、発表する。

テキスト : 地域作業療法学 作業療法学全書 第13巻 改訂第3版 協同医書出版

参考書 : 地域に根ざした作業療法 理論と実践 ScaffaME (山田孝・監訳) 協同医書出版

成績評価方法 : 定期試験20%、レポート80%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	11月20日	1	駅前	曾根稔雅（作業療法学科）	福島県における地域医療、健康面の課題
2	11月20日	2	駅前	同上	福島県における地域包括ケアシステムの現状
3	11月20日	3	駅前	同上	福島県における地域リハビリテーション体制の現状
4	11月20日	4	駅前	川又寛徳（作業療法学科）	福島県における地域作業療法の実際（1）：入所・通所・訪問の一体的なサービスの概要
5	11月20日	5	駅前	同上	福島県における地域作業療法の実際（1）：入所・通所・訪問の一体的なサービスの事例
6	11月27日	1	駅前	長谷部真奈美（只見町介護老人保健施設こぶし苑）	福島県における地域作業療法の実際（2）：行政における作業療法士の役割
7	11月27日	2	駅前	同上	福島県における地域作業療法の実際（3）：僻地における作業療法士の役割
8	11月27日	3	駅前	同上	福島県における地域作業療法の実際（3）：僻地における作業療法士の取り組み
9	11月27日	4	駅前	榎森智絵（竹田総合病院）	福島県における地域作業療法の実際（4）：地域包括支援センターにおける作業療法士の役割
10	11月27日	5	駅前	同上	福島県における地域作業療法の実際（4）：地域包括支援センターにおける作業療法士の取り組み
11	12月4日	1	駅前	渡邊忠義（あさかホスピタル）	福島県における地域作業療法の実際（5）：精神障害領域における作業療法士の役割
12	12月4日	2	駅前	同上	福島県における地域作業療法の実際（5）：精神障害領域における作業療法士の取り組み

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	12月4日	3	駅前	同上	福島県における地域作業療法の実 際（5）：精神障害領域における 作業療法士の取り組み
14	12月4日	4	駅前	木田佳和（介護老 人保健施設檜葉と きわ苑）	福島県における地域作業療法の実 際（6）：認知症初期集中支援 チームにおける作業療法士の役割
15	12月4日	5	駅前	同上	福島県における地域作業療法の実 際（6）：認知症初期集中支援 チームにおける作業療法士の取り
16	12月11日	1	駅前	長谷川敬一（竹田 総合病院）	福島県における地域作業療法の実 際（7）：福島県作業療法士会① 歴史
17	12月11日	2	駅前	同上	福島県における地域作業療法の実 際（7）：福島県作業療法士会② 活動の概要
18	12月11日	3	駅前	同上	福島県における地域作業療法の実 際（7）：福島県作業療法士会③ 震災時の対応
19	12月11日	4	駅前	岡本宏二（一般社 団法人ふくしまを リハビリで元気に	福島県における地域作業療法の実 際（8）：発達障害領域における 作業療法士の役割
20	12月11日	5	駅前	同上	福島県における地域作業療法の実 際（8）：発達障害領域における 作業療法士の取り組み
21	12月18日	1	駅前	曾根稔雅、川又寛 徳（作業療法学 科）	福島県における健康面の課題（P B L） ①課題の提示、グループワークの進め方
22	12月18日	2	駅前	同上	福島県における健康面の課題（P B L） ②解決策の検討
23	12月18日	3	駅前	同上	福島県における健康面の課題（P B L） ③資料収集
24	12月18日	4	駅前	同上	福島県における健康面の課題（P B L） ④支援計画の立案



	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	12月18日	5	駅前	同上	福島県における健康面の課題（PBL） ⑤発表資料の作成
26	1月15日	1	駅前	同上	福島県における健康面の課題（PBL） ⑥成果報告：A、Bグループ
27	1月15日	2	駅前	同上	福島県における健康面の課題（PBL） ⑥成果報告：C、Dグループ
28	1月15日	3	駅前	同上	福島県における健康面の課題（PBL） ⑥成果報告：E、Fグループ
29	1月15日	4	駅前	同上	福島県における健康面の課題（PBL） ⑥成果報告：G、Hグループ
30	1月15日	5	駅前	同上	総括

科目名 : 臨床実習Ⅳ  
英語名称 : Clinical Practice Ⅳ  
担当責任者 : 倉澤茂樹  
開講年次 : 3年 後期 8単位 授業形態 : 実習  
必修・選択 : 必須

概要 : 本実習は対象者への一連の作業療法評価の実施、及び作業療法治療の一部を実施できることを目指す。内容としては、臨床実習指導者が立案した対象者の治療方針やリハビリテーションゴールを基に、必要な作業療法評価を立案し実施する。評価結果から対象者の課題をまとめ、対象者の作業療法目標および治療プログラムを立案する。作業療法治療介入は臨床実習指導者の指導・監督の下、学生の習熟度や対象者の安全面を考慮した上で、指導者が行う治療の補助を基本として実施する。さらに、各実習施設の地域医療の役割に即した作業療法についても学ぶ。本実習は、3年次後期の8週間の臨床実習であり、各障害領域の施設で実施する。教員は学生の実習状況を確認し、学生への教育指導に加え、実習指導者への実習指導に関する教育的な助言や調整を行う。担当教員は定期的に学生および実習指導者と連絡をとって指導するとともに現地巡回を行って指導する。本科目は、本学部がキーワードとしている「地域医療」に関連する科目である。

学習目標 : 1) 対象者の治療方針やリハビリテーションゴールを基に、必要な作業療法評価を立案し実施することができる。  
・対象者に必要な作業療法評価法について説明することができる。  
・対象者の治療方針やリハビリテーションゴールを基に、必要な作業療法評価を立案することができる。  
・作業療法評価について、指導者の技術の模倣を通して安全に実施することができる。  
・評価結果を整理し全体像を把握することができる。  
・対象者の課題を抽出し作業療法目標および治療プログラムを立案することができる。  
2) 臨床実習指導者の作業療法治療場面の一部を補助することができる。  
・対象者に必要な作業療法介入について、指導者の考えを理解し、説明することができる。  
・対象者の状態を踏まえ、治療介入の場所・時間の設定、治療器具等の準備ができる。  
・指導者が行う作業療法治療介入の補助をすることができる。  
・立案した作業療法プログラムの一部について、指導者の治療介入技術の模倣を通して安全に実施することができる。

テキスト : なし（配布資料）

参考書 : 3年前期までに使用した教科書  
必要に応じて紹介する

成績評価方法 : 実習報告書60%、症例報告（発表及び報告書）20%、ポートフォリオ20%

その他 :  
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
	1週目		臨床実習施設	臨床実習指導者（各実習施設）、 五百川和明、倉澤茂樹、曾根稔 雅、澄川幸志、藤田貴昭、浅尾章 彦、川崎伊織、石川陽子、川又寛 徳三橋佑平、小笠原牧、田中善 信、木村夏実、松本大典（作業療 法学科教員）	オリエンテーション、施設内各部 署業務見学、作業療法場面（評 価、治療）見学
	2～6週目		臨床実習施設	臨床実習指導者（各実習施設）、 五百川和明、倉澤茂樹、曾根稔 雅、澄川幸志、藤田貴昭、浅尾章 彦、川崎伊織、石川陽子、川又寛 徳三橋佑平、小笠原牧、田中善 信、木村夏実、松本大典（作業療 法学科教員）	作業療法評価実施、作業療法治療 場面補助、多職種カンファラン ス、等 教員訪問指導
	7～8週目		臨床実習施設	臨床実習指導者（各実習施設）、 五百川和明、倉澤茂樹、曾根稔 雅、澄川幸志、藤田貴昭、浅尾章 彦、川崎伊織、石川陽子、川又寛 徳三橋佑平、小笠原牧、田中善 信、木村夏実、松本大典（作業療 法学科教員）	作業療法治療場面補助、まとめ